

殊ふ八氏神八幡三所小折言て一言の詐偽あきつり代頭ちやうの
その也

清和天皇

貞純親王

六孫親王

鎮守府將軍滿仲

鎮守府將軍賴光

兼政守右馬頭賴國

左馬頭參河守賴綱

兵庫頭仲正

大祖從三位兵庫頭賴政

伊豆守仲綱

右衛門尉有綱

大河内元祖伊豫守秀綱

大監物仲詮

左近將監政忠

越前守義政

右京大夫政茂

判官出雲守賴定

左衛門督光政

左馬頭政國

總將監左近將監季政

出雲守政詮

兵庫頭政親

伊賀守孝盛

左衛門尉政長

善左衛門尉出雲守基孝

善左衛門尉善兵衛尉政綱

大河内友大膳大夫入道成也齋

寛文二年壬戌八月吉日

從五位下諸大夫源秀元

皇

右相傳之所

同造酒允秀連

右此の卷者翁父高麗國へ渡海せし時の日記を集めて以て朝鮮物語

と号く自筆の判形を以て予に相傳の如しり然るに幅六寸傳書上又
より是と望まらるる父の善提所を以て是に幸と号し納まらる者也

大河内造酒允

寛文十二^壬子天正月吉日

秀連

印

正福寺傳譽上人願阿知郭大和尚

朝鮮物語卷之下 大尾

糸魚川藩 佐治信



嘉永二年己酉五月刻成

本町三丁目

東都書林

和泉屋善兵衛